

長久手市行政評価票（S票：施策評価票）

施策番号	11 -	施策名	古戦場公園再整備事業
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	総合計画	基本方針	4	文化をみがき、人が輝くまち
		分野別項目	4	文化・芸術に親しむ場と機会を充実する
		施策の進め方	1	町固有の伝統文化の継承
	まちづくり行程表	フラッグ	F3	「みどり」～ふるさと(生命ある空間)の風景を子どもたちに～
		政策分類	11	魅力ある景観を創り出す
	その他(関係法令、要綱等)			
施策開始の背景、経緯等 史跡「長久手古戦場」を含む古戦場公園の供用開始から30年が経過し、施設の老朽化に伴う再整備について5次総に施策として位置づけた。				

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) ①史跡長久手古戦場保存活用計画を策定する。学識経験者、地元関係者などから構成する策定委員会から意見集約や史跡地の現状(地形、樹木、境界測量)調査に基づき、国指定史跡地等の保存、活用など将来像を示す。 ②古戦場公園再整備基本計画を策定する。各種アンケート調査や市民ワークショップ、地域別市民意見交換会、有識者会議などの意見聴取に基づき、古戦場公園一帯に関して、国指定史跡の教養を深め、歴史文化を活かした市民交流の拠点として整備を計画する。			
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 国指定史跡および国指定史跡を含む古戦場公園一帯を			
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 歴史的価値を見出し、史跡を構成する要素を確認し、次世代へ保存、活用、また市民の意見により再整備する。			
	施策に係る主なコスト	① 古戦場公園再整備基本計画	11,612 千円	② 史跡長久手古戦場保存活用計画	8,900 千円

施策に係る取組み	27年度	28年度	29年度	中期(おおよそ3年後)	長期(おおよそ5年後)
	目標	目標	目標	目標	目標
史跡長久手古戦場保存活用計画	—	策定委員会を2回開催し、古戦場公園部分について計画を策定する。	古戦場公園以外の史跡地に関して、計画を策定する。	計画に基づき、各史跡地において保存、活用を実行する。	計画に基づき、各史跡地において保存、活用、整備を完了する。
	—	策定委員会を2回開催し、古戦場公園部分について計画を策定した。			
古戦場公園再整備基本計画	策定までに市民ワークショップ5回開催、市民アンケート1,000名分調査し、計画の策定のため意見交換、意見集約する。	地域別意見交換会(6小学校区)の開催、市民ワークショップ1回、郷土史研究会意見交換会2回開催し、意見集約し計画策定する。	計画に基づき、公園の運営に関し、市民主体のパークマネージメント組織立ち上げ準備に取り組み。また、基本設計、実施設計、建築基準審査会の準備をする。	パークマネージメント組織を立ち上げ、基本設計、実施設計を作成し、工事に着手する。	計画に基づいた整備工事を完了する。パークマネージメント組織による公園の運営・管理を開始する。
	市民ワークショップ4回開催、市民アンケート調査647名分意見集約した。	市民アンケート424名分集約。地域別意見交換会(6小学校区)の開催、市民ワークショップ1回、郷土史研究会と意見交換会(2回)を開催し、意見集約し計画策定した。			

環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 小牧市H11.3策定(史跡小牧山整備計画基本構想)、不破郡関ケ原町H22.3策定(史跡関ケ原古戦場保存管理計画)、名古屋H27.3策定(史跡志段味古墳群保存管理計画)、愛知県H28.3策定(史跡貝塚山貝塚保存管理計画)
------	---

改善状況	前年度からの改善点 (何をどのような状態に改善したのか) 計画策定に市民が自分事として携わることをめざし、市民ワークショップのみならず、地域別意見交換会(6小学校区)や郷土史研究会と意見交換会(2回)を開催し、より多くの市民が計画策定に携わった。
------	---

評価	目標達成状況	(目標・成果推移に対する達成状況や進捗状況など) これまでの目標数値に対して、目標どおりの成果があった。
	課題	(目標達成状況を踏まえ、課題を整理) 再整備に関して、建築基準審査会での許可を得なければならない。

今後	今後の方向性、改善点 (施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) 計画に基づき、公園運営に関し、市民主体のパークマネージメント組織立ち上げ準備に取り組む。
----	--